2025. 3.7審議会 **資料1**

令和6年度 文化財関係事業報告

	事 業 名 等	内 容 等	実施時期	場所等	対象等	備 考
	文化財保護審議会	市指定文化財の指定申請から諮問	7月、3月	教育委員会	文化財全般	10人の委員による審議、(7/4、3/7)
	県指定文化財保存整備等補助事業		通年 4月~12月 9月~12月	柏原八幡宮 狭宮神社 山本薬師堂	柏原八幡宮 狭宮神社 延命寺	指定文化財の適正な保存管理【別紙 資料2】
	市指定文化財保存整備等補助事業	小野天満宮のモミ保存修理事業	7月~12月	小野天満宮	小野天満宮	支柱設置【別紙 資料2】
	文化財保存団体補助	民俗芸能活動補助金、無形文化財活動補助金	通年	市内	各保存団体	伝承活動のための補助金 (成松造り物、青垣翁三番叟、南多田新発意おどり、裸まつり、常勝寺鬼こそ)【別紙 資料2】
	国登録有形文化財(県景観形成重要建造物)への補助	慧日寺方丈保存修理事業	7月~1月	慧日寺	慧日寺	東面茅葺き替え、軒下木部の腐朽・劣化箇所の修繕(兵庫県まちづくり技術センターの助成)【別紙 資料2】
	文化財清掃管理業務	三ッ塚史跡公園・天神窯跡・野々間遺跡の芝草刈、剪定。旧 友井家住宅、旧朝倉家住宅内外清掃	4月~3月	市島町・春日町・山 南町	三ッ塚史跡公園・野々間遺跡・旧友井家住宅、旧朝倉 家住宅	史跡公園、指定文化財の適正な維持管理
文 化	柏原藩陣屋跡庭園等管理業務	柏原藩陣屋跡の植栽等の管理	4月~3月	柏原町柏原	柏原藩陣屋跡	植栽等の維持管理
財管理関係	県指定天然記念物 柏原の大ケヤキ (木の根橋) 治療業務 柏原の大ケヤキ (木の根橋) 保存活用計 画策定	樹勢回復の治療及び薬剤散布業務 保存活用計画の策定	11月~3月 10月~2月	柏原町柏原	柏原の大ケヤキ	県補助事業で実施 策定委員会を開催(10/9、12/4、2/12)【別紙 資料6】
事業	市指定史跡 旧広小路土塀保存修理実施設計	旧広小路土塀の保存修理の実施設計業務	8月~3月	柏原町柏原	旧広小路土塀	
	市内古文書等歴史資料調査	散逸・滅失が危惧される近世地方文書を中心に、調査を行い、資料価値を地域と連携しながら見直し、調査活動を通して地域づくりに資する		市内	講座6回、 丹波志を読む2回開催 古文書調査	神戸大学大学院人文学研究科との共同研究(委託業務)。古文書を中心に、主に近世文書、古写真、村絵図等の所在調査を行い、その調査及び研究成果を公表する講座を開催
	旧朝倉家住宅でむかしばなし/建物の公 開		7/15(土)(おはなし会) 8/17、9/21、10/19、 11/16	旧朝倉家住宅	親子ほか	青垣図書館との共同事業(おはなし会) 村山誠子氏による
	指定文化財管理	市所有文化財の保存・管理	通年	市内	各所	二間塚古墳、岩尾城跡、黒井城跡
	指定文化財の説明看板設置事業	市内の指定文化財の内、建造物や史跡等を中心に未設置 の文化財説明看板を順次設置して普及・啓発する	1月~3月	市島町上鴨阪	誉(余)田城	指定文化財説明看板の設置
	美術工芸品調査	慧日寺の美術工芸品調査	2月3日、4日	慧日寺		門脇委員、大阪大学学生による

	資料館運営委員会	各資料館の適正な管理と運営を審議	7月、3月		各資料館	10人の委員による審議
	施設管理	施設保守管理	随時	各資料館	各資料館	経常的な維持管理
資 料		開館ボランティアの会による資料館の開館 ボランティアの会との共催による歴史講座の開催	年間26日開館 年3回	市島民俗資料館 ライフピアいちじ ま	市民等	入館者数(2月末まで) 514名 参加者77名(1回目29名/2回目24名/3回目24名) R5年度86名
:館管理関係事	企画展の開催	夏季ミニ企画展「教科書がものがたる戦争」	8月1日~9月16日	春日歴史民俗資料 館	市民等	明治から昭和にかけて、実際に丹波地域の学校で使われていた教科書から「戦争」に関係する内容を取り上げて、日本で戦争が当たり前であった時代に、子どもたちが見ていた戦争を、教科書を通して紹介する。 入館者数189名
業		ミニ企画展「市辺散布地 令和6年度調査速報展」	1月11日~2月24日	春日歴史民俗資料 館	市民等	令和6年度発掘調査を実施した市辺散布地の調査速報展
		丹波市立ミュージアム合同企画展「職員の推したいー 品」	1月11日~2月24日	柏原藩陣屋跡	市民等	市内5館のミュージアムによる合同企画展
調工	埋蔵文化財の照会・回答	埋蔵文化財と開発事業との調整	年間随時	市内	市・民間開発事業者	随時対応【別紙 資料5】
調査関係事業埋蔵文化財	市内遺跡発掘調査等事業	国庫補助事業 市内開発事業に伴う事前確認・試掘調査・分布調査	年間随時	市内	市·民間開発事業者	市内各開発地の試掘確認調査を実施し、各種開発事業との 調整を行う
事財業	埋蔵文化財調査報告書	国補助金による発掘調査報告書の作成	年間随時	市内	市内の各遺跡等	市埋蔵文化財試掘調査概要報告書の刊行

令和6年度 指定文化財に係る保存整備等補助事業の実施状況

番号	指定文化財名称	指定等 区分	所有者(管理者)	整備の概要等	補助対象経費	補助金額	備考
1	八幡神社本殿及び 拝殿	国指定	宗教法人柏原八幡宮	防災設備保守点検(自火報、避雷針等 の点検。年2回)	181, 200 円	県 90,000円	県補助事業
2	文化財保存技術「檜皮採取」大野浩二	国選定保存技術	大野浩二氏 (選定 保存技術保持者)	檜皮採取技術者(中級者)の檜皮採取 技法の研修	2, 107, 000 円	国 2,106,000円 (定額補助)	国庫補助事業
3	文化財保存技術「竹釘製作」石塚直幸	国選定保存技術	石塚直幸氏(選定 保存技術保持者)	竹釘製作技術者の竹釘製造、道具調 整、竹材採取の研修	1, 113, 000円	国 1,106,000円 (定額補助)	国庫補助事業
4	山本薬師堂	県指定	宗教法人 延命寺	自動火災報知機の修繕	355,000円	県 118,000円 市 118,000円	県補助事業(市随伴)
5	狭宮神社本殿	県指定	宗教法人 狭宮神社	本殿檜皮葺の葺替	20, 295, 000 円	県 6,765,000円 市 6,765,000円	県補助事業(市随伴)
6	柏原の大ケヤキ(木の根橋)	県指定	丹波市	根の治療等	1,842,000円	県 921,000円	県補助事業
7	慧日寺方丈	国登録	宗教法人 慧日寺	東面茅葺き替え、軒下木部の腐朽・劣 化箇所の修繕	13, 524, 000 円	県 3,300,000円市 3,381,000円	景観形成重要建造物等修景助成(市随伴)
8	天満宮のモミ	市指定	小野天満宮	支柱設置	3, 272, 000 円	市 1,636,000円	市補助事業

番号	指定文化財名称	指定等 区分	所有者(管理者)	整備の概要等	補助対象経費	補助金額	備考
9	成松の造り物	市指定	成松造り物保存会	活動補助	553, 000 円	市 210,000円	市補助事業
10	青垣翁三番叟	国選択県指定	青垣翁三番叟保存 会	活動補助	311,000円	市 100,000円	市補助事業
11	熊野神社の裸祭	市指定	熊野神社裸祭り保 存会	活動補助	825, 000 円	市 50,000円	市補助事業
12	南多田新発意おどり	市指定	南多田新発意おど り保存会	活動補助	250, 000 円	市 30,000円	市補助事業
13	常勝寺追儺式鬼こそ	市指定	宗教法人 常勝寺	活動補助	173, 000 円	市 30,000円	市補助事業



狭宮神社本殿檜皮葺替



慧日寺方丈東面茅葺替等



天満宮のモミ支柱設置

令和6年度資料館入館者集計

2025.3.7 審議会 資料3

館名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
柏原歴史民俗資料館	167	265	124	173	268	328	617	566	171	168	189		3,036
春日歴史民俗資料館	44	83	25	34	87	138	76	77	10	81	316		971
市島民俗資料館	29	32	82	69	25	24	22	117	25	65	24		514
月別合計	240	380	231	276	380	490	715	760	206	314	529	0	4,521

春日歴史民俗資料館

・令和6年度夏季ミニ企画展「教科書がものがたる戦争」

会期: 令和6年8月1日(木)~9月16日(月•祝)

入館者数 189名

・ミニ企画展「市辺散布地 令和6年度調査速報展」

会期: 令和7年1月11日(土)~2月24日(月•祝)

入館者数 389 名

柏原歴史民俗資料館(柏原藩陣屋跡)

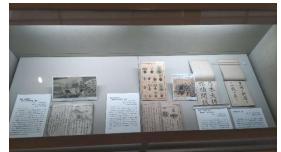
・丹波市立ミュージアム合同企画展「職員の推したい一品」 会期:令和7年1月11日(土)~令和7年2月24日(月・祝)

入館者数 333名

市島民俗資料館

•「偽の往来手形」展示





「教科書がものがたる戦争」



「職員の推したい一品」



「偽の往来手形」

令和6年度 資料収集・写真掲載・資料貸出等



1.寄贈

資料名	寄贈者
松浪一夫氏従軍関係資料	松浪陽一氏
絹本著色 五大明王画像ほか8点	(宗)乗宝寺
丹波焼徳利、塩壺、茶壷、通い徳利、お歯黒壺	森田重利氏
田健治郎筆額	小谷宣行氏

2. 寄託

資料名	寄贈者
田ステ女発句短冊、「二百五十年遠忌開基貞閑尼和尚記 念写真帖」、田健治郎資料	山本純子氏
中井権次彫刻下絵ほか伝来資料	中井光夫氏

2. 写真使用・掲載

資料名	使用目的・番組名等
織田信長画像	読むクリアファイル『中日本BATTLE』(仮)
織田信雄画像	「決定版 日本の名城11号 犬山城」、『歴史人』 1 月号 読むクリアファイル『中日本BATTLE』(仮)
丹波市内遺跡出土墨書土器	古代丹波丹後地域出土文字資料集成作成(奈良文化財研究所)
梶原遺跡出土犂	兵庫県立考古博物館特別展「動物と考古学-愛でる、使う、食べる-」の展示パネル、 調査研究(元興寺文化財研究所)
安土古城図ほか	大河ドラマ展「豊臣兄弟!」にかかる関連資料調査
伝織田信長所用烏帽子型兜	観光アンバサダー新木宏典氏パネル撮影
崇広館写真	丹波新聞
三ッ塚廃寺跡	丹波市アウトドア グランピングに関するフリーペーパー
黒井城跡	「デジタル城下町」内の黒井デジタル城下町民証、コープステーション4月号、BS11
柏原藩陣屋跡	MOOK本「関西 休日本」、池畑銘茶本舗、JAひかみ広報誌、史跡小島陣屋跡御殿 (静岡市)の書院移築復元完成イベントでの紹介、コープステーション4月号
尚徳門額写真	小島省斎についての本に掲載

3. 文化財利用

柏原藩陣屋跡	織田まつり、崇広小学校5年生(お茶体験)、雛めぐり
--------	---------------------------

4. 資料貸出

資料名	展覧会名
「絹本著色田艇吉画像」、「田艇吉筆二行書」	市立伊丹ミュージアム企画展「福知山線120年のあゆみ一駅弁・駅スタンプとともに」

5. 小学校見学

●春日郷土資料館

新井小学校3年生	15名(引率者含む)
東小学校3年生	51名(引率者含む)
北小学校3年生	26名(引率者含む)
小川小学校3年生	29名(引率者含む)
南小学校3年生	19名(引率者含む)
青垣小学校3年生	32名(引率者含む)

崇広井小学校3年生	68名(引率者含む)
中央小学校3年生	52名(引率者含む)
船城小学校3年生	8名(引率者含む)
上久下小学校3年生	7名(引率者含む)
春日部小学校3年生	22名(引率者含む)

●春日歴史民俗資料館

●柏原歴史民俗資料館

新井小学校3年生	17名(引率者含む)	

●市島民俗資料館

●開発事業承認申請



			住	 E所	遺跡名	時代	種類	照会文書の提出
1	丹波市山南町	小野尻	字中所	925-1	_			不要
2	丹波市市島町	中竹田	字長谷	6227-3	_			不要
3	丹波市市島町	乙河内	字森ヶ元	2088-1	_			不要
4	丹波市市島町	中竹田	字安下	881-1, 881-3, 882-1, 882-4	安下遺跡	古代~近世	散布地	必要
5	丹波市市島町	中竹田	字安下	881-1、881-3、882-1、882-5	安下遺跡	古代~近世	散布地	不要
6	丹波市市島町	中竹田	字竹ノ下	334、336-1	_			不要
7	丹波市市島町	上垣	字頼母田	975	=			不要
8	丹波市市島町	上垣	字頼母田	975	_			不要
9	丹波市市島町	上竹田	字川壁	2409-1, 2411-1 • 2, 2412-1 • 2, 2413-1 • 2,	_			不要
10	丹波市市島町	中竹田	字竹ノ下	2414、2414-1、2415-1・2 334、336-1	_			不要
	丹波市市島町		字柳溝	1106、1107、1108	_			不要
-	丹波市春日町		3 (2) (1)	538, 539, 540, 667	_			
	丹波市春日町			538, 539, 540, 668	_			不要
	丹波市春日町			538, 539, 540, 668	_			不要
-	丹波市春日町			899, 901, 903, 911, 913	_			不要
	丹波市春日町			899, 901, 903, 911, 913				不要
	丹波市春日町			209-1, 210, 475-1	_			不要
	丹波市春日町				_			
				154、159		(a = 200	tt- tt ni	不要
	丹波市春日町			607-1	七日市遺跡	旧石器~古代	集落跡	不要
	丹波市春日町			459-2, 459-1	_			不要
-	丹波市春日町			239、240-1、241-1	_			不要
	丹波市春日町		-L- turn I	538-1、540	_			不要
	丹波市柏原町		字郷之山	1496、1493	_			不要
24	丹波市柏原町	田路	字なけ	153, 153-1, 156-1 • 4	_			不要
25	丹波市柏原町	柏原	字南賀 字坊ノ奥 字中戸	5201-1, 5201-2, 5203, 5205, 5206, 5207, 5208-1, 5208-5, 5209-1, 5210, 5239, 5244 5208-2 1090-2, 1090-3	_			不要
26	丹波市柏原町	田路	字なけ	153、153-1、156-1・4	_			不要
27	丹波市柏原町	柏原	字下浅田	1786-1	_			不要
28	丹波市柏原町	柏原	字下浅田	1786-1 · 3	_			不要
29	丹波市柏原町	田路	字宗作	44-1	_			不要
30	丹波市柏原町	北山	字森田	332	_			不要
31	丹波市柏原町	田路	字宗作	44-1, 46-1, 46-3	_			不要
32	丹波市柏原町	南多田		456、458、460、461、468-1	_			不要
33	丹波市柏原町	大新屋	字山根	583-1、584-3	_			不要
34	丹波市氷上町	石生	字助國	1834-1、1835-2、1836-2、 1837-1, 1838-10	_			不要
35	丹波市氷上町	新郷	字島寺	192-1、192-2、193-1、193-2、193-3、194-1、194-3、194-5、196-4	_			不要
36	丹波市氷上町	石生	字助國	1834-1、1835-2、1836-2、 1837-1, 1838-10	_			不要
37	丹波市氷上町	市辺	字塚ノ元	114-1、115、117-1、113-1、116	市辺遺跡	古墳~古代	官衙遺跡	必要
38	丹波市氷上町	成松	字田子ノ渕	669-1	_			不要
39	丹波市氷上町	大崎		72, 71-1	_			不要
40	丹波市氷上町	大崎		$\begin{array}{c} 250-1\cdot 2,\ 251-1\cdot 2,\ 251-1\cdot 2\cdot 3\cdot 4\cdot 5\cdot 6\cdot \\ 7\cdot 8\cdot 9\cdot 10\cdot 11\cdot 12\cdot 13\cdot 14,\ 252-1\cdot 10\cdot \\ 12\cdot 13,\ 431\cdot 433\cdot 434\cdot 435\cdot 436\cdot 437\cdot 438-1\cdot 439-1\cdot 440\cdot 441\cdot 442-1\cdot 443-3 \end{array}$	_			不要
41	丹波市氷上町	北野		219-1、220、220-1·2、231、232-2、235-1· 2·4·6·7	_			不要
42	丹波市氷上町	大崎		64、64-1、66、69-3、64-4	_			不要
43	丹波市氷上町	成松	字田子ノ渕	669-1	_			不要
44	丹波市氷上町	谷村	字界縄沢	2006-1	_			不要
45	丹波市氷上町	絹山	字松ヶ鼻	460-1、480	_			不要

			住所	遺跡名	時代	種類	照会文書の提出
46	丹波市氷上町 新	新郷 字寺島	192-1、192-2、193-1、193-2、193-3、194-1、194-3、194-5、196-4	=			不要
47	丹波市氷上町 常	常楽	420-1、425、428	_			不要
48	丹波市氷上町 横	黄田	631-1、634-1·5	_			不要
49	丹波市氷上町 絹	絹山 字松ヶ鼻	460-1、480	_			不要
50	丹波市氷上町 常	常楽 字甲賀	794-1、795、796-1、796-4	_			不要
51	丹波市氷上町 名	谷村 字界縄沢	2006-1	_			不要
52	丹波市氷上町 成	成松 字下町	227-1	_			不要
53	丹波市氷上町 常	常楽	794-1、795、796-1、796-4	_			不要
54	丹波市氷上町 カ	大崎	$\begin{array}{c} 250-1 \cdot 2, \ 251-1 \cdot 2, \ 251-1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 5 \cdot 6 \cdot \\ 7 \cdot 8 \cdot 9 \cdot 10 \cdot 11 \cdot 12 \cdot 13 \cdot 14, \ 252-1 \cdot 10 \cdot \\ 12 \cdot 13, \ 431 \cdot 433 \cdot 434 \cdot 435 \cdot 436 \cdot 437 \cdot 438 - \\ 1 \cdot 439-1 \cdot 440 \cdot 441 \cdot 442-1 \cdot 443-3 \end{array}$	_			不要
55	丹波市氷上町 非	北野	219-1、220、220-1·2、231、232-2、235-1· 2·4·6·7	_			不要
56	丹波市青垣町 東	東芦田 字江古端	966-2、967-1·2	_			不要
57	丹波市青垣町 東	東芦田 字芦生	1066-1, 1069-1, 1070	_			不要
58	丹波市青垣町 東	東芦田 字殿屋敷 字発塚	583-1 · 3 751-3	_			不要
59	丹波市青垣町 東	東芦田 字殿屋敷 字発塚	583-1 · 3 751-3	_			不要
60	丹波市青垣町 東	東芦田 字江古端	966-2、967-1·2、968	_			不要
61	丹波市青垣町 東	東芦田 字芦生	1066-1, 1069-1, 1070	_			不要
62	丹波市青垣町 東	東芦田 字芦生	1066-1, 1069-1, 1070	_			不要
63	丹波市青垣町 山	山垣 字奥ノ山	1930、1931-2、2132	_			不要
64	丹波市青垣町 東	東芦田 字殿屋敷	579	_			不要

●樹木伐採に伴う届出

		1	住所	遺跡名	時代	種類	照会文書の提出
1	丹波市山南町 小野尻	字長坂	2491-1 · 2	_			不要
2	丹波市山南町 南中	字乗越	1039、1043	_			不要
3	丹波市山南町 野坂	字鳶巣	1085-1 · 2、1086	_			不要
4	丹波市山南町 南中	字乗越	1040、1041、1042	_			不要
5	丹波市山南町 南中	字乗越	1013、1014、1015、1011、1010-1、1009	_			不要
6	丹波市山南町 金屋	字大谷	1090	金屋大谷古墳群	古墳	古墳	必要
7	丹波市山南町 金屋	字大谷	1087-1	金屋大谷古墳群	古墳	古墳	必要
8	丹波市山南町 小野尻	字柏谷	224	_			不要
9	丹波市山南町 小野尻	字柏谷	2231-2、2232、2233	_			不要
10	丹波市山南町 小野尻	字後山 字北条 字北糸谷	2291-2 787-3 2294-1	_			不要
11	丹波市山南町 応地	字奥山	1074、1075、1076-1・2	応地奥山古墳群	古墳	古墳	不要
12	丹波市山南町 太田	字柿木谷	2006-1	_			不要
13	丹波市山南町 南中	字奥山	1037-3、1037-5	_			不要
14	丹波市市島町 上鴨阪	字北大谷	2087-2、2087-11、2087-12	_			不要
15	丹波市市島町 上鴨阪	字古赤保	2151、2154-5	_			不要
16	丹波市市島町 上鴨阪	字清水	2140-20	_			不要
17	丹波市市島町 乙河内	字本林	2085-1	_			不要
18	丹波市市島町 上竹田	字浄光庵	4103、4104、4105-1、4106、4108	_			不要
19	丹波市市島町 戸坂	字坂折	628	坂折遺跡	古代~近世	散布地	不要
20	丹波市市島町 乙河内	字森ヶ元	2088-1	_			不要
21	丹波市春日町 小多利	字新林	1048-8、1048-9	柏野古墳群	古墳	古墳	必要
22	丹波市春日町 長王	字大茶エン	2770、2771、2772、2773、2774、2776、 2777、2779、2781	_			不要

			Æ	上所	遺跡名	時代	種類	照会文書の提出
23	丹波市春日町	転剰	字赤土	2152	ASS POJ PC	-010	133794	不要
			于亦工		_			
	丹波市春日町			1672-1, 1673				不要
	丹波市柏原町		字金ヶ山	1164	_			不要
	丹波市柏原町		字大谷	1247、1248、1249-1、1250、1251	_			不要
	丹波市氷上町		字小山	2132	_			不要
28	丹波市氷上町	北野		32	_			不要
29	丹波市氷上町	上新庄	字東田	1107-2	_			不要
30	丹波市氷上町	三方	字岩口	2044-2	_			不要
31	丹波市氷上町	井中	字今寺	2072-1	井中古墳群	古墳	古墳	必要
32	丹波市氷上町	三方	字五郎林	2055-1	_			不要
33	丹波市氷上町	石生	字向山 字芝木輪	3014-10、3015-6、3016-4、3017-5、3021-3、3022- 2、3024-2、3028-4 366-10	_			不要
34	丹波市氷上町	清住	字西山	1226-2、1239	_			不要
35	丹波市氷上町	井中	字池ノ谷口 字今寺	2081 2072、689-4	_			不要
36	丹波市氷上町	清住	字東山	1069-1	_			不要
37	丹波市氷上町	清住	字西山	1241	_			不要
38	丹波市氷上町	上新庄	字南後山	1096	_			不要
39	丹波市氷上町	三原	字常小山	13	_			不要
40	丹波市氷上町	三原	字向山	1-24	_			不要
41	丹波市氷上町	井中	字奥畑	677、683-1、684-1、687-1、686	井中8号墳	古墳	古墳	不要
42	丹波市氷上町	上成松	字京尾山	1024	上成松古墳群	古墳	古墳	必要
43	丹波市氷上町	上成松	字京尾山	1056	_			不要
44	丹波市氷上町	御油	字堂ヶ谷	1085、1087	_			不要
45	丹波市氷上町	下新庄	字内山	2036	_			不要
46	丹波市氷上町	新郷	字西方	1264-1	_			不要
47	丹波市氷上町	清住	字東山	1067-1	_			不要
48	丹波市氷上町	三方	字滝ヶ谷	2098	_			不要
49	丹波市氷上町	長野	字奥長野	89-3 · 4 · 5 · 7	_			不要
50	丹波市氷上町	清住	字西山	1224	_			不要
	丹波市氷上町		字東山	1062-1	_			不要
	丹波市氷上町		字黒木	2242-2	_			不要
	丹波市氷上町		字井林	2050	稲畑古墳群	古墳	古墳	必要
	丹波市氷上町	稲畑 谷村 新郷	字石町 字萱刈 字界縄沢 字長嶌中 字上市場	846-1, 904-5, 912, 913, 1617, 1619, 1620, 1621 2150, 2156, 2157 2007-1 1847-1 1494-1 2040-2	_			不要
55	丹波市氷上町	朝阪	字狸岩	2215-2、2213	_			不要
56	丹波市氷上町	新郷	字赤井	1538	新郷古墳群	古墳	古墳	必要
57	丹波市氷上町	新郷	字赤井	2078、2080、2081-1	新郷古墳群	古墳	古墳	必要
58	丹波市氷上町	香良	字延命寺谷	2214-1	_			不要
59	丹波市青垣町	大名草	字初土	2051-3	_			不要
60	丹波市青垣町	口塩久	字西ヶ谷	1009-1	_			不要
61	丹波市青垣町	西芦田	字坊ヶ谷	2044	_			不要
62	丹波市青垣町	遠阪	字アガサコ	2071-10 · 12	鶏足寺経塚	中世	経塚	不要
63	丹波市青垣町	遠阪	字アガサコ	2071-8 · 13 · 15 · 18	鶏足寺経塚	中世	経塚	不要
64	丹波市青垣町	遠阪	字アガサコ	2071-9 · 16	鶏足寺経塚	中世	経塚	不要
65	丹波市青垣町	沢野	字シンガタニ	2159	_			不要

			住所	遺跡名	時代	種類	照会文書の提出
66	丹波市青垣町 大名草	字ゼナガ	2062-1	_			不要
67	丹波市青垣町 大名草	字ウトント	2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033	_			不要
68	丹波市青垣町 大稗	字高谷 大木	1046 1145、1152	_			不要
69	丹波市青垣町 稲土	字弥二郎山	2442、2450、2452-2	_			不要
70	丹波市青垣町 口塩久	字カスラ	1142-1	_			不要
71	丹波市青垣町 稲土	字今岡	2458	_			不要

●93条届出 埋蔵文化財包蔵地の範囲内で工事に伴う掘削作業を行う場合、民間施工の場合は文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出を工事着手の 60 日前までに市教委を通じて県教委へ届出

			住	所	遺跡名	時代	工事内容	対応
1	丹波市山南町	下滝	字カラ木	272-1	下滝遺跡	弥生、古代~近世	個人住宅兼店舗	慎重工事
2	丹波市山南町	谷川	字生田	2025番	雲光寺跡	近世~近代	個人住宅	工事立会
3	丹波市山南町	岩屋		225	岩屋遺跡	古代~近世	個人住宅	慎重工事
4	丹波市山南町	岩屋	字村畑	236番 1	岩屋遺跡	古代~近世	個人住宅	慎重工事
5	丹波市市島町	中竹田	字友政	161番の一部、161番2、162番3の一部	友政遺跡	古代~近世	個人住宅	慎重工事
6	丹波市市島町	梶原	字季ノ木	472	梶原西c遺跡	弥生~近世	個人住宅	慎重工事
7	丹波市春日町	小多利	字新林		新林古墳群 (3・5~7号墳)	古墳	残土処分地造成	試掘 発掘調査
8	丹波市春日町	多田		565-1	多田遺跡	古代	太陽光発電	慎重工事
9	丹波市柏原町	挙田	字上り見塚	351番 1	举田遺跡	弥生~近世	個人住宅	慎重工事
10	丹波市柏原町	柏原	字下町西側	287番1	柏原・本町遺跡	古代	個人住宅	工事立会
11	丹波市柏原町	柏原	字上中町東側	248番8	柏原旧城下町	奈良・平安・近世	個人住宅	慎重工事
12	丹波市柏原町	柏原	字上中町西側	285番	柏原・本町遺跡、柏原旧城下 町	奈良~近世	個人住宅	慎重工事
13	丹波市氷上町	本郷	字上首田	102-9, 102-10, 102-11, 102-11, 103-6, 103-7, 103-8	本郷散布地	古墳~近世	個人住宅兼店舗	慎重工事
14	丹波市氷上町	市辺	字井ノ尻	347	市辺散布地	弥生~平安	携帯電話基地局	工事立会
15	丹波市青垣町	佐治	•	120-1, 121-1, 122-3	沢野条里遺構	古代~近世	事務所新築	慎重工事

●94条通知

埋蔵文化財包蔵地の範囲内で工事に伴う掘削作業を行う際に国や地方公共団体の場合は文化財保護法 94 条第 1 項に基づく通知を計画策定の段階で市教委を経由して 県教委へ通知

		7114754 20276					
		住	三所	遺跡名	時代	工事内容	対応
1	丹波市柏原町 柏原		683	柏原旧城下町	奈良~近世	防犯カメラ用ポール設置	慎重工事
2	丹波市青垣町 中佐治	字サコカイ	1285番7 他5筆	平野遺跡		ファームポンド、パイプ ラインの設置工事	確認調査 慎重工事
3	丹波市青垣町 田井縄	字親見谷		田井縄遺跡	弥生・古墳・中世	看板設置	慎重工事
4	丹波市市島町 上田		448-1	上田遺跡	古代~近世	複合施設	確認調査、 慎重工事
5	丹波市市島町 与戸	字坂折	622	坂折遺跡	古代~近世	看板設置	慎重工事

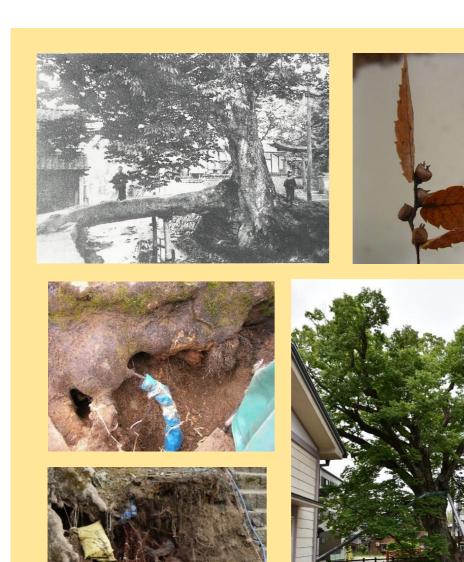
●試掘調査

	住所	遺跡名	時代	種類	遺構の有無
1	丹波市青垣町 中佐治 字サコカイ 1285番7 他5筆	平野遺跡	奈良~平安	散布地	無
2	丹波市春日町 小多利 字新林	新林古墳群	古墳	古墳	墳丘、石室
3	丹波市柏原町 柏原	柏原旧城下町	古代、近世	集落	土塀の礎石
4	丹波市市島町 上田 448-1	上田遺跡	古代~近世	散布地	溝、落ち込み(遺物なし)



柏原の大ケヤキ(木の根橋)保存活用計画(案)〔概要版〕

~まちを見守る大ケヤキとともに、自然豊かで共に安全に暮らせるまちの実現~



丹波市教育委員会



柏原の大ケヤキ(木の根橋)は、昭和45年に県の天然 記念物に指定され、まちのシンボルとして地域住民に愛されてきました。 この間、周辺工事等の影響を受け樹勢が弱まることが度々あり、平成13 年には幹にナラタケモドキが見つかるなど樹勢に深刻な影響を及ぼす腐 朽菌の侵入が見られることから、倒木防止のため支柱の設置や治療を行っています。

この支柱の設置から 20 年が経過し、新たな倒木防止対策や樹木の保存・治療について学識経験者や地域住民の意見を交えて今後の治療や保存活用に関する計画を策定するため、策定委員会を設置し協議検討を行いました。

本質的価値

柏原の大ケヤキ(木の根橋)は、ケヤキの幹回りの大きさでは県内で

7番目であり、巨木としての価値よりも「木の根橋」の名のとおり1本の根が川を跨いで根を張り木の根が 橋のようになっているという奇形がその本質的価値といえます。

●課題

倒木や落枝がいつ発生するのかを特定することは困難で、大ケヤキに面した道路は児童生徒の通学路や生活道路でもあるため、落枝対策や倒木の対策など安全対策を第一に取り組む必要があります。

また、治療の甲斐なく樹勢が衰弱した場合には、市街地に立地していることから安全上、木が枯死してしまう前に指定解除を含めた処置・対処をしなければならない可能性があることについて、十分な検討や合意 形成を行い、広く周知していく必要があります。

— 基本方針 —

(1) 柏原の大ケヤキ(木の根橋)を見守り、樹勢の維持に必要な措置を適切に実施する。

· 経過観察 · 定点観測

キノコの発生状況や幹の傾きの計測、枝葉の様子など樹木の状態だけでなく、周囲に設置した潅水装置や保護柵、看板類、石垣の状態についても年2回の現地観察を行い観察票に記録し、3方向からの定点撮影を実施します。



観察票

・樹木の治療

ナラタケモドキ等罹患部や枯れ枝の切除、天敵菌の散布等を実施します。

樹勢と枝張のバランスをとるため、樹高が 10m程度となるように枝の剪定を行う。重い枝を大部分が空洞となった幹で支えている現状では倒木の危険性があり、樹木の維持、安全性を観点からも強剪定を行って、ある程度人の手を入れて維持していく必要があります。

強剪定による木への負担を軽減できるように徐々に様子を見ながら剪定を行います。



ナラタケモドキ

最終的な葉先の位置

強剪定及び最終的な葉先の位置

・根系の保護

樹木の生育環境の改善措置として、道路下の根の育成、土壌改良に取り組みます。

強剪定の位置

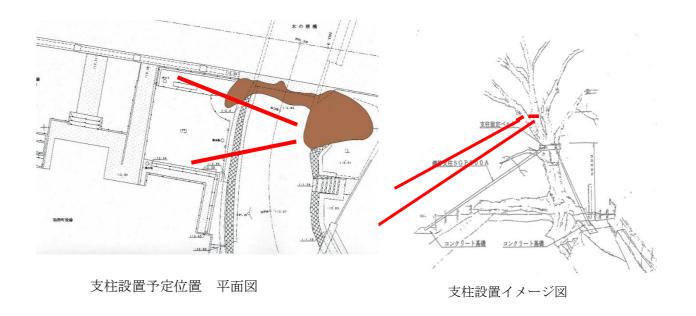


道路下の根の育成

(2) 柏原の大ケヤキ(木の根橋)が人や物に危険を及ぼさないための安全対策を取る。

・支柱の設置、改修・メンテナンス

既設の支柱は幹を支えるもので、枝の支えではないため枝が根元から折れて幹が裂ける危険性が 残っています。今後は、枝の強剪定を行うことで荷重を減らしていきますが、およそ 20 年をかけて 徐々に行うものであるため、その間の対策として枝を支える新たな支柱を設置します。



・枝落下防止ワイヤーの更新

枝が折れて地上に落下することのないように設置しているワイヤーを状況に応じて更新していきます。

(3) 地域資源として観光や自然・地域学習でのさらなる活用

- ・小学校での大ケヤキの治療や樹木に関する授業を行い、自然保護や天然記念物に関する理 解を深めていきます。
- ・治療や樹木に関するデジタルパンフレット、ホームページを作成します。QRコードを説明板や観光案内所に設置して容易にアクセスできるようにします。
- ・数年に1度ある実のなり年には、多くの実生が木の周りに発生します。この種や苗木を配布し、育てることで、大ケヤキの大きさに育つまでの年月や、自然の素晴らしさを体感できるようにします。

また、木の根橋の2世を育てることで、この木のストーリーをつなげるとともに、愛着の 醸成が図れるように努めます。

丹波市指定文化財 木造釈迦如来坐像(春日町棚原)の保管場所について

<文化財の概要>

文化財名:木造釈迦如来坐像 1軀

像高89.2 cm、玉眼、鎌倉時代の作と推定。

指定年月日:昭和51年12月9日

所有者:棚原自治会

所在地:春日町棚原。現在、棚原地内の浄円寺に 隣接している「観音堂」内に、他複数の彫像や位 牌とともに安置。

「観音堂」は、元は天正年間に開山した臨済宗 寺院「鹿通山瑞巌庵」。明治 40 年以降無住。



(令和6年12月撮影)

<保管場所の変更について> 観音堂正面(南東面)



観音堂側面(北東面)



令和6年12月、棚原自治会から該当の文化財の保管について相談を受け、 観音堂の現地確認および協議を行った。

現状、内部は、雨漏りにより天井・壁面にカビ・キノコ類が発生している。 また、過去には、小動物の侵入によって位牌が倒される事例もあった。外部は 瓦のズレや欠落、建物全体の傾きが見られ、北東面に支柱を設置している状況 である。自治会としては、観音堂を修理することは財政的に難しいため、文化 財保存の観点から、保管場所を変える必要があると思われる。

観音堂と隣接する浄円寺は、観音堂が無住となってからも、「氷上郡観音霊場」の札所としての木版を浄円寺が保管し、巡礼者の朱印等の対応を代行する関係であった。また、仏像が地元住民の信仰の対象であることを考慮すると、保管場所の変更先として、地域の信仰の場である浄円寺が望ましいと考えられる。

教育委員会諮問第1号

丹波市文化財保護審議会

丹波市指定文化財の指定について(諮問)

丹波市文化財保護条例(平成16年条例第96号)第18条第1号の規定に基づき、 下記の文化財について丹波市指定文化財への指定を諮問します。

令和7年3月7日

記

指定文化財

1 鴟尾

2397-11

所在地

所有者

種類

指定の理由

3点

丹波市市島町上田 1134

丹波市

++. _L >//>> \/r

考古資料

三ッ塚廃寺に瓦を供給していた天神窯跡の4号窯から2点、3号窯から1点が出土した。

削り出しの段と縦帯以外を持たない鴟尾は「百済様式」と呼ばれ、飛鳥寺に始まり7世紀に主流となって形を変化させながら8世紀初めまで続く。4号窯出土の鴟尾も段の幅が比較的広く、縦帯は突帯で表されており、胴部と鰭部の段が連続しているなど簡略化が進んだ段階のものである点やその他の出土遺物の年代から7世紀末のものと考えられる。

3号窯鴟尾は、4号窯鴟尾とおなじく百済様式の退化 したものと考えられるが、胴部と鰭部に指又は箆状工具 で浅い溝状の施文で段を表す手法をとる点はあまり一般 的ではない。

市内で唯一出土した鴟尾であり、寺院の伽藍装飾の具体像や古代窯業生産の実態を知る重要な資料である。

2清蘭寺庭園

所在地

丹波市市島町下竹田 68

所有者

宗教法人 清薗寺

種類

名勝

指定の理由

築山式枯山水庭園で背後の高谷山を借景とするため、 南側の土塀を西側よりも低くしている。庭園の中心は、 隅の枯滝でその奥に守護石を左にやや振って立て、滝の 右側には山形の蓬莱石が組まれ、平天石と立石を階段式 に組んで築山を構成する。築山石組は小振りながらも力 強い格調高い石組で安定感もあり、枯滝石組とともに最 も重点的な石組で特徴がある。

本庭は親王院が建てられたと考えられ文化年間 (1804~1818)頃の作庭と考えられ、様式や石組が酷 似する神戸市の竹林寺庭園と同一人物による作庭と思 われる。

本庭は庭園意匠や石組手法が優れており、市内を代表する枯山水庭園である。

3 絹本著色仏涅槃図

所在地

所有者

川日で

種類

指定の理由

丹波市山南町谷川 2630

宗教法人 常勝寺

絵画

釈迦が沙羅双樹の木の下で亡くなった時の情景を描く。釈迦の宝床の手前に描かれる阿難が抱き起される姿で描かれていること、左上にクジャクを頭に乗せた神将形が描かれているなど特徴的な表現が見られる。

各部の彩色や絵絹の状態などから、南北朝時代後半から室町時代の初め頃(14世紀末から 15世紀初頭)に制作されたと考えられる。軸裏の墨書銘と箱書きからおおよその制作年を比定することができ、室町時代にはすでに常勝寺に伝来していたことも判明することから美術史的・歴史的に基準作となる貴重な作例である。